

文化力向上へ提言

県政策審議会が会合

有識者による県文化政策審議会(会長・横山俊夫静岡文化芸術大学長)の会合が25日、県庁で開かれ、本県の文化政策の在り方について、各委員が中長期的な視点で提言を行った。

遠山敦子県富士山世界遺産センター館長は「本県は富士山など文化的資源が豊富なのに、焦点が絞りにくい」として、文化的発信の拠点化を検討することや「文化暦」を作成して整理することを提案した。鈴木寿美子県文化協会会長は「日本平夢テラス(静岡市清水区)などの施設では観光だけでなく、文化的な活用も考えていくべきだ」とした。

県は議論を踏まえて2022年度からの次期県文化振興基本計画を策定する。木下直之県立美術館館長は「21年度までの現計画を検証した上で、次期計画に新しいことを足していく整理が必要だ」と指摘した。